



平良小学校を拠点に活動する小学生ドッジボールチーム「平良弾丸キャッチャーズ」。その練習を取材しました。

■ドッジボールの魅力

「初心者でも出ることができると、大会に誘われたことがきっかけで、ドッジボールを始めました。硬い球を全身で受け止めるので、痛くて泣いたこともあり。でも、チームのみんなと試合ができることがとても楽しいです」。そう話す

のは、キャプテンの安田仁弥さん。投げて、よけて、キャッチする、その一瞬一瞬が真剣勝負。全身で戦うところがドッジボールの楽しさだと安田さんはいいます。「練習では、アタッカー陣はパスをしつかりつなぎ、キャッチ陣は一つ一つの球に集中するよう意識しています。僕は特に守りが好きです。速い球をキャッチすると周りがすごく盛り上がって、その盛り上がり力がなくなってアタッカー陣も頑張れるからです」。

ドッジボールを始めたことで、精神面で強くなり、周りと協力することができるようになったという安田さん。「試合中に気分が落ち込まないよう、日ごろの練習から精神力を鍛えて、チームが盛り上がるような大きな声を出しています。負けているときこそ声を出す、元気で負けないチームです」。

■子どもたちの成長を見守る

チームは今年の県大会で初優勝し、全国大会に出場しました。子どもたちを指導し、支えるのは、森口知宏監督、今田智己コーチ、部員の保護者たち。今田コーチは「子どもたちを抑えつけず、大人に自分の意見をはっきり言うよう指導しています。ドッジボールは、

無酸素運動を5分間続けるようなハードな競技。泣かない子はいません。それでもコートを出ず、乗りこえようとする姿はすごいと思います」。

森口監督は「チームには小学1〜6年生の男の子、女の子がいます。小さい子の面倒を見て、助け合っただけで、とにかく仲が良いチームです。ドッジボールを通して、仲間を信じて協力することのすばらしさを感じてもらいたい。最後まで諦めない心を持って、ドッジボールができること、全ての人に感謝する気持ちを学んでほしいです。今は部員21人中6年生が10人。12人制の競技なので、6年生の卒業後は部員不足にも悩みます。地域の小学生にドッジボールの楽しさを体験しに来てもらいたい」と、チーム、そして子どもたちへの思いを話してくれました。



左の2次元コードを読み込むと、ホームぺージに飛びます。チームの紹介動画を、10月1日(月)に掲載しますので、ぜひご覧ください。



はつかいら人

vol.33

廿日市市で輝く人を紹介します

ドッジボールチーム 平良弾丸キャッチャーズ

編集後記

涼しくなり、ようやく秋らしくなってきました。行楽の秋、市内でもさまざまなイベントがありますので、ぜひ出掛けてみてください。

先日、取材の申し込みをすると「笑顔でお待ちしております」と返信が。忙しい合間に取材に応じてくださるだけでなく、その心遣いに胸が温かくなりました。取材先の人の魅力が十二分に伝わる紙面にしていきたいと改めて感じました。

メキシコ空手ナショナルチーム合宿の一部を取材しました。昔、空手を習っていたことがありますが、国を代表するアスリートの競技としての空手の迫りに圧倒されました。

最近体を動かす機会がないため、ラジオ体操を始めました。初日から筋肉痛になりました。体衰えをひしひしと感じつつ、屋久島旅行を目標に頑張ります。

澁谷 里香

田坂 尚子

人のうごき

前月比

総人口	117,374人	(-16)
男	56,395人	(-6)
女	60,979人	(-10)
世帯	51,766世帯	(-5)

(平成30年9月1日現在、外国人を含む)

目の不自由な人のため

吉声読み上げのための「広報はつかいち」テキスト版をホームページに掲載しています。「広報はつかいち」のカセットテープ、ダウンロード、音声ファイルがあります。問い合わせ先 社会福祉協議会 ☎0294

発行 廿日市市 〒738-8501 広島県廿日市市下平良一丁目11番1号
 編集 分権政策部 総務政策課 広報統計グループ
 〒0829-0001(代) 國0829-01059
 ホームページアドレス https://www.city.hatsukaichi.hiroshima.jp/
 フェイスブックアドレス https://www.facebook.com/hatsukaichicity